あの日のように抱きしめて（2014）

PHOENIX

メディア 映画
ジャンル ドラマ　サスペンス
製作国 ドイツ
色彩 Color
時間 98分
初公開日 2015/08/15
公開情報 アルバトロス・フィルム
映倫 G

【キャッチコピー】
ただ 知りたかった。
あの時、夫は私を愛していたのか。
それとも、ナチスに寝返り
裏切ったのか――。

【解説】
「東ベルリンから来た女」のクリスティアン・ペッツォルト監督と主演のニーナ・ホスが再びタッグを組み、終戦直後のドイツを舞台に贈るノワール映画。ユベール・モンテイエの『帰らざる肉体』を映画化。アウシュヴィッツから奇跡的に生還したユダヤ人女性が、容貌の変わった妻に気づかない夫の頼みで、本人でありながら偽装妻を演じるという哀しくも皮肉な状況の中で繰り広げられる心理劇の行方をサスペンスフルに描き出す。共演も「東ベルリンから来た女」のロナルト・ツェアフェルト。
1945年6月、敗戦直後のドイツ、ベルリン。強制収容所から奇跡的に生還を果たした元歌手のネリー。しかし顔に深い傷を負った彼女は、親友のユダヤ人弁護士レネの助けを借りて顔面の修復手術を受ける。レネは新たにできるユダヤ人国家にネリーと一緒に行くことを夢見ていた。一方、ネリーの望みはただひとつ、元の顔を取り戻し、ピアニストの夫ジョニーのもとへと帰ること。やがて顔の傷も癒えたネリーは、ついにジョニーを見つけ出し、最愛の夫と念願の再会を果たす。しかし妻は収容所で亡くなったと頑なに信じるジョニーは、ネリーを妻に似ている別人と思い込んでしまう。そして、妻が生きていたことにすれば、一族の遺産を相続できるからと、ネリーに妻のフリをしてほしいと持ちかける。夫への愛ゆえに、この皮肉な提案を甘んじて受け入れるネリーだったが…。

【クレジット】

監督	クリスティアン・ペッツォルト	Christian Petzold	
製作	フロリアン・コールナー・フォン・グストルフ	Florian Koerner von Gustorf	
	ミヒャエル・ヴェバー	Michael Weber	
原作	ユベール・モンテイエ	Hubert Monteilhet	『帰らざる肉体』
脚本	クリスティアン・ペッツォルト	Christian Petzold	
撮影	ハンス・フロム	Hans Fromm	
編集	ベッティナ・ボーラー	Bettina Böhler	
出演	ニーナ・ホス	Nina Hoss	ネリー
	ロナルト・ツェアフェルト	Ronald Zehrfeld	ジョニー
	ニーナ・クンツェンドルフ	Nina Kunzendorf	レネ

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

ミヒャエル・マールテンス	Michael Maertens
イモゲン・コッゲ	Imogen Kogge
キルステン・ブロック	Kirsten Block

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.